

① 件名
石巻市徘徊高齢者等のためのSOSネットワーク事業の拡充について
② 施策等を必要とする背景及び目的（理由）
<p>【背景】</p> <p>本市では、平成18年度から在宅の徘徊する高齢者等を早期に発見し、保護することを目的に警察と連携しSOSネットワーク事業を実施している。この事業は家族等からの申出により、徘徊高齢者等を登録し氏名や連絡先等を記入した登録証（ワッペン型）を交付するものである。</p> <p>本市の高齢化率は、本年3月末現在31.1％に達し、認知症高齢者は増加傾向にあり、将来的にはさらなる増加が見込まれることから、より迅速な対応を可能とする手法が求められている。</p> <p>【目的】</p> <p>QRコードラベルの導入や必要に応じた関係機関への情報提供により、徘徊高齢者等を早期に発見し、保護すること及び徘徊高齢者等の家族の精神的及び身体的負担の軽減を図るもの。</p>
③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性
<p>【根拠法令等】</p> <p>介護保険法（平成9年12月17日号外法律第123号） 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン） 石巻市徘徊高齢者等のためのSOSネットワーク事業実施要綱 （平成18年4月10日告示第153号）</p> <p>〔総合計画との整合性 総合計画の位置付け：有・無〕</p> <p>第4章 安心して健やかに暮らせるまち 第4節 安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する 4 認知症高齢者と家族を支援する</p> <p>〔個別計画との整合性〕</p> <p>石巻市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画</p>
④ 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）
<p>平成18年4月 徘徊高齢者等のためのSOSネットワーク事業開始 平成29年1月20日 第1回石巻市徘徊高齢者等のためのSOSネットワーク事業関係者会議 （石巻警察署・河北警察署・ラジオ石巻・宮城県タクシー協会石巻支部）</p>
⑤ 主な内容
<p>1 徘徊高齢者等登録証QRコードラベル（どこシル伝言板）の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見者がQRコードを読み取り、発見場所・現在の居場所等を入力し送信すると、直接保護者に連絡が入る。発見者は保護時に注意すべきこと等もQRコードから情報が得られる。 ・地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所の担当者を通じて配付する。 ・希望により従来の登録証も使用可能とする。 <p>2 徘徊高齢者の早期発見・保護の体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徘徊高齢者等登録者の検索に必要があるときは、当該登録者の情報を警察署以外の関係機関にも情報提供し、早期発見・保護の協力を求める。

⑥ 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）

【影響・効果】

QRコード使用により利便性・有効性が高まり、徘徊高齢者等の早期発見や保護が円滑に図られる。在宅高齢者等の家族の精神的及び身体的負担の軽減が図られ、さらに住民の関心も高まり、地域での見守りも推進される。

また、必要に応じた関係機関への情報提供により、ネットワークの強化が図られる。

【財源措置】

平成29年度介護保険事業特別会計

QRコードラベル「どこシル伝言板」

230,000円

(国負担割合 39% 89,700円)

(県負担割合 19.5% 44,850円)

(市負担割合 19.5% 44,850円)

(第1号被保険者保険料

22% 50,600円)

⑦ 他の自治体の政策との比較検討

QRコードラベル平成28年度導入 埼玉県日高市

⑧ 今後の予定及び施行予定年月日

平成29年5月 「石巻市徘徊高齢者のためのSOSネットワーク事業実施要綱」の一部改正
(平成29年6月1日施行予定)

6月 第2回石巻市徘徊高齢者のためのSOSネットワーク事業関係者会議
地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所説明会
市報・ホームページにてQRコードラベルについて周知
QRコードラベルの配付開始

7月下旬 QRコードを使用した徘徊模擬訓練
～8月

11月 徘徊高齢者についての理解と見守りについての講演会

※認知症サポーター養成講座で、QRコードラベルの説明

⑨ その他

徘徊高齢者等登録者数 64人（平成29年3月末現在）



名前

SOSネットワーク

No.

連絡先：電話 0225-

警察署生活安全課